

(宣言日) 令和8年1月23日

富士山SDGs推進パートナー宣言書

私たちは、「富士山を守り 未来につなぐ 富士山SDGs」を推進する富士宮市とともに、持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取り組むことを宣言します。

団体・事業所名称	Rubato。
区 分	<input type="checkbox"/> 企業（業種： ） <input type="checkbox"/> 特定非営利活動法人・非営利団体 <input type="checkbox"/> 教育・研究機関 <input checked="" type="checkbox"/> その他団体（ ）
代表者職/氏名	兜森慶子
所 在 地	富士宮市貴船町9-15
U R L	
電 話 番 号	09026610609
メールアドレス	queens_bee_0817@yahoo.co.jp
反社会的勢力でないことの誓約	<input checked="" type="checkbox"/> 反社会的勢力でなく、反社会的勢力との関わりがない。

団体・事業所として 2030 年（中長期的な）のあるべき姿	
2030年に向け、ケアラーやヤングケアラー、グリーフを抱える人が孤立せず、自分らしく生き続けられる地域づくりを担う中核的団体となることを目指します。ケアラースカフェを拠点に、医療・福祉・法務・文化をつなぎ、市民と行政、事業者が協働するファッショントーク「日常がランウェイとなる街」を実現を目指します。支援が特別ではなく日常に溶け込む仕組みを育てていきます。	
団体・事業所としてのSDGs達成に向けた特徴的な取組（予定を含む）	
医療・介護・法務・飲食・文化分野の多職種が連携し、ケアラースカフェを拠点に、ヤングケアラー支援、グリーフケア、孤立防止のための居場所づくりを行います。市民参加型のファッショントーク企画「日常がランウェイとなる街」や音楽を活用した啓発活動により、多様性を尊重する社会の理解を広げ、企業・教育機関・行政と協働しながら、SDGs目標3：すべての人に健康と福祉を、目標4：質の高い教育をみんなに（理解・啓発）、目標8：働きがいも経済成長も（ケアと仕事の両立）、目標11：住み続けられるまちづくりを中心とした持続可能な地域づくりに取り組みます。	
SDGsの各目標に向けた取組内容及び目標	
注力するゴール	宣言日から1年後までの取組内容及び目標
3	ケアラーやグリーフを抱える人が心身の不調や孤立を抱え込まず、安心して暮らせる地域づくりに取り組みます。医療・介護の専門職と連携し、早期の気づきと相談につなぐとともに、ケアラースカフェを拠点に、対話や音楽などを通じた心のケアを日常に取り入れ、すべての人に健康と福祉が行き届くまちを目指します。
4	介護や看病、生活上の役割を担う成人が、年齢や状況に関わらず学び直しや情報取得ができる環境づくりに取り組みます。医療・福祉・法務の専門職と連携し、制度理解や生活に役立つ学習機会を提供するとともに、ケアラースカフェを拠点に対話と交流を通じた生涯学習を促進し、誰もが主体的に学び続けられる社会を目指します。
11	ケアラーやグリーフを抱える人が孤立せず、安心して暮らし続けられる地域づくりに取り組みます。ケアラースカフェを拠点に、相談・交流・表現の場を日常に組み込み、市民・事業者・行政が協働する仕組みを構築します。多様な立場の人が役割を持ち、日常そのものが参加の場となる「住み続けられるまち」を富士宮市で実現します。

(記入上の注意)

- 3つの目標に関する取組を記載してください。（環境・経済・社会の3分野からそれぞれ選択していることが望ましい。）
- 目標は、なるべく数値や数量でどのような貢献ができるかを表していることが望ましい。
- 上記の書式に書き切れない場合には、任意の様式で提出いただいて構いません。

宣言書送付先：富士宮市企画部企画戦略課 (kikaku@city.fujinomiya.lg.jp)